

## 第96回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年2月2日（木）10：00～11：50

2. 場所：KKRホテル東京 11F 丹頂

3. 参加者：神野委員長、臼杵委員長代理、玉木委員、山崎委員

### 4. 議事要旨

#### （1）令和4年度第3四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和4年度第3四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

#### （2）基本ポートフォリオの年次検証等について

事務局から以下の説明があった。

- ・厚生年金保険給付積立金の基本ポートフォリオについて、策定時に想定した運用環境から現実が乖離していないかどうか検証するため、ベンチマーク収益率が基本ポートフォリオ策定時の前提に基づいて算出される想定レンジ内に入っているかどうかを確認した結果、いずれも想定レンジ内にあり、運用環境に著しい乖離があることは認められない。
- ・退職等年金給付積立金の基本ポートフォリオについて、策定時に想定した運用環境から現実が乖離していないかどうか検証するため、財政再計算時の予定利率の設定と財政再計算後の長期金利の推移を比較し、概ね同様に推移していることから、運用環境が大きく乖離しているとは言えない。

これを受けて、現行の基本ポートフォリオは現時点では妥当であり、直ちに見直しの必要はないが、今後も金融市場の状況を注視し、必要に応じて随時検証していくことが重要であるとされた。

#### （3）評価委員会及び財政制度等審議会国共済分科会による令和3年度運用評価について

事務局から評価委員会及び財政制度等審議会国共済分科会による令和3年度運用評価の概要について報告があった。

(4) 年金財政における経済前提に関する専門委員会について

事務局から年金財政における経済前提に関する専門委員会について報告があった。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・新しい基本ポートフォリオを策定するにあたっては、諸問題に対し意欲的に取り組み、管理運用主体としてきちんと説明できるようにしなければならない。
- ・次期基本ポートフォリオの期待リターンは、マーケットを見ながら現実的な数値を設定することが良いのではないか。

以 上